

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2015年
11月11日(水)
第132号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

「保育を楽しむための連続講座第2回」 第2回は過去最多の87名参加！！

～クラスに多数の支援児がいる保育～

10月20日(火) ラパスホールで「保育を楽しむための連続講座第2回」が開催されました。今回の講師は合研でも馴染みがある首都大学東京の浜谷直人さんを講師に迎え、「クラスに多数の支援児がいる場合の保育」をテーマに講義をしていただきました。

支援児は退屈ということが苦痛であり我慢できないため、「この先生と一緒にいると楽しい！」と思える人間関係が必要なこと、普段の保育の中での楽しい遊びや<自己肯定感>を味わえる経験の積み重ねが大切だということ。又、支援が必要な子どもだけでなく、周囲の支援児を挑発する子や同調する子にも焦点をあてて講義が進みました。

その後、講座を受け少人数に分かれてグループ交流を行いました。講座の感想と「支援児にまつわること」

などを中心に交流を深めました。浜谷先生の話しを聞いて「つい子どもの良くない行動に目がいきがちだったが、その行動の背景を考えることも大切だと改めて気付かされた。」「要支援児に限った話ではなく、クラス全体をどう見ていくかが大切だと思った。視点が今までの見方とかわった。」など日々の保育を振り返る意見や、「色々な自治体の話を聞いて参考になった。」「同じような悩みを持っている人がいてその悩みを共有できて心強かった。」など多くの学びを得られ、有意義な時間となりました。

次回の講座は12月13日(日) 13:30～17:00 全理連ビル(代々木駅)にて講師に河崎道夫さんを迎え「ごっこ遊び—自由と自然—」をテーマにお話ししていただきます。是非多くのご参加してお待ちしております！



【アンケートに書いていただいた感想をいくつか紹介します。】

女性：20代 保育士4年目 「支援を必要とする子がいる中で、その子ども達がどうしたら安定した生活を過ごせるか、悩んでいる人がこんなにたくさんいたのか、ということにすごく勇気づけられました。

女性：20代 保育士2年目 『子どもは記憶とともに生きる』という一言が心の中に特に強く残っています。子どもたちにとって、今、私たちと過ごす時間が過去になったとき、そのときの記憶が良いも悪いもその子の人生の物語の根底になると思うと、一瞬一瞬を大切に、そして楽しむ力が育っていくような保育をしていきたいと強く感じました。」

女性：40代 保育士20年目 「我慢しようとしたんだね」という言葉は大変勉強になりました。そのような言葉をかけられるような保育をしていきたいと思いました。

女性：20代 保育士2年目 「悪質な記憶を残さない。」という事の大切さ、事例から学び、これからの保育に生かしていきたいと思いました。また、「今度はやらないよね。」など子どもの次回を決める発言、やりがちかもしれないとドキッとしました。

男性：20代 保育士7年目 「毎回毎回浜谷さんの研修では刺激を与えられます。場面の切り替えのはなしをもう少し聞きたかった。」

女性：50代 「フリースタイルで悩み等を話し合えて良かった。皆悩んでいることは様々だが、思っていることは同じなので、ほっとした気がする。あっという間の時間だった。」

女性：20代 保育士4年目 「今、まさにぶつかっている自分自身の壁についてのおはなしが聞けて、解決の糸口が見えた気がします。」

女性：20代 保育士2年目 「子どもは 記憶とともに生きる」という一言が心の中に特に強く残っています。一瞬一瞬を大切に そして楽しむ力が育っていくような保育をしていきたいと強く感じました。」

女性：20代 保育士3年目 「支援児のいないクラスですが、グレーゾーンに入る子ども達に対する自分自身の声かけや対応を、改めて考え直すことができました。他区と情報交換ができ、新鮮な気持ちになれました。」

女性：20代 保育士2年目 「退屈しているから遊べていない、気になることをする…というのが自分の保育を思い返して、本当にそうだと思います。」

女性：20代 保育士4年目 「様々な世代の方々とお話、交流をさせて頂き、同じような悩みを持っている方がいることに驚きつつ、心強いように思いました」

女性：30代 保育士8年目 「浜谷先生のお話とても面白く、とても勉強になりました。遊び込むことの大切さ楽しい記憶を作ることの大切さを感じて、明日からの保育ですぐにでも心がけていこうと思いました！」

「第2期保育を楽しむための連続講座第1回」

保育を楽しめていますか？楽しむために学ぼう！

15年9月8日に東京労働会館にて、第2期の保育を楽しむための連続講座が開催されました。雨のばらつくあいにくの天気ではありましたが、熱い思いを持った保育士たちが集まりました。記念すべき第1回目は、「楽しむために学ぼう」をテーマに、高橋光幸さんが熱く、そして胸に響く講演をして、その後にグループ討議を行いました。『保育を楽しみたい！』と期待をふくらませるのは、保育者であれば誰しも願うテーマだと感じます。そんな願いを叶えるために学ぼう。学習会に参加する・本を読むことを学びと思いがちですが、目の前にいる子どもから私たちは日々学んでいます。堅く考えなくてもいいのです！今、困っていること・関心のあることを学んでいきましょう。そうすることで学びの幅が広がり、目の前の子供達との楽しい生活が実現されて行くのです。今後の連続講座でも、豪華な講師を招いて学んでいく予定です。みなさん、楽しむために学んでいきましょう！



参加者からの感想の紹介

20代 保育士歴1年目

保育はこんなに自由に楽しくやっていたんだと思えました。1年目で萎縮していましたがすごく考えが変わりました。そして「自由になるために学ぶ」というのはすごく心に残りました。子どもたちと楽しい瞬間を自分が作り出せるように色々試してみたいと思います。

20代 保育士歴7年目

研修に参加したり、本を読んだりすることが学びなのではなく、目の前の子どもたちから学ぶためのツールだという話しがストンと落ち、学ぶ理由をわかりやすく伝えていけると思った。

20代 保育士歴2年目

様々な保育士の方と悩んでいることや現状について話すことができて良かった。

20代 保育士歴1年目

同じ気持ちの人がたくさんいることが分かり安心しました。

20代 保育士歴1年目

まず自分が楽しんでいきたいです。

グループ討議では、様々な自治体・経験年数の方たちと交流をしました。どのグループにも1～3年目の若手保育士が多く、同じような思いや不安を感じていることを知ることができ安心したようです。園ではなかなか自分の思いを話せなかったり、悩みを共有できなかつたりするため、貴重な時間だったと多くの意見をいただきました。思いをざっくばらんに語れる場があることで、明日からの保育も頑張ろうと思えたりするものです。



【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。】